

令和7年 湖西市議会 12月定例会

市 長 あ い さ つ

令和7年11月28日

おはようございます。

本日から、令和7年12月湖西市議会定例会が開催されるにあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

(季節性インフルエンザの流行)

さて、今年の秋は、季節の移り変わりがゆっくりで、10月は高温が続き、11月に入ると急に冬のような寒さが訪れるなど、寒暖差が大きい天候となっています。この季節の変わり目に伴い、10月下旬からは季節性インフルエンザの流行も本格化してきました。特に小学校・中学校では学級閉鎖を余儀なくされる学校も増えており、児童生徒の健康管理が一層重要となっています。

(第62回豊田佐吉翁顕彰祭)

先月、10月30日には第62回豊田佐吉翁顕彰祭を開催いたしました。豊田章男会長からは『佐吉翁が私たちに示してくれたもの。それは、次の100年のために全力を尽くす「大人の背中」だと思う。そして「日本発」の未来を世界に発信する「大人の背中」を子どもたちに見せてあげたい。それが私の想いです。』と語られました。また、佐吉翁奨学生代表の鈴木円花（すずき まどか）さんからは、「『豊田綱領』の一節『研究と創造に心を致し、常に時流に先んずべし』そして『華美を戒め、質実剛健たるべし』という言葉を心に留め、体裁や見栄えにとらわれず、日々研鑽を重ねていく決意を述べられました。私は『人づくり』や『まちづくり』といった先人たちからのバトンをしっかりと受け継ぎ、『魅力ある湖西市を子どもたちへ』という理念を掲げ、湖西市を明るく元気で住みよい町にするため、『障子を開けてみよ、外は広いぞ』の精神で果敢に挑戦していくことをお誓い申し上げたところです。

ここで少しお時間をいただきまして簡単ではありますが、この10月、11月に実施した施策の取組経過を4つ、ご報告します。

(暮らしやすさの実現・コーちゃんタクシー)

まず、はじめに、10月からサービスを拡充し、実証実験を開始した湖西市のデマンド型乗合タクシー、いわゆる「コーちゃんタクシー」の10月の乗車実績は、2,065人でした。これは、9月までの月別利用実績と比較して、実に倍増しています。さらに、拡充された土日祝日の乗車実績は、土曜日は平日の平均の約60%、日曜日・祝日は約40%の利用がされております。この乗合タクシーを利用するには事前登録が必要ですが、現在、登録者数の増加を目指して、「おでかけキャンペーン」を実施しています。新規登録者を対象に抽選でプレゼントを進呈するなど、利用促進に取り組んでいます。利用者からは、「土・日の運行は、ありがたい」や「色々な所に行けるようになった」などの感想をいただいており、令和8年9月まで実証を続けてまいります。

(元気なまちの実現・「まちあるき観光案内所」)

2つめは、同じく10月からの実証実験の取組です。

湖西市内の飲食店や小売業、観光資源を案内するまちあるき観光案内所を、新居関所駐車場内と鷺津駅周辺にそれぞれ1箇所ずつ、計2箇所設置しました。11月16日までに673人が訪れ、市内観光案内や飲食店等の案内を行っており、来訪者の方からは、「うなぽんグッズをふやしてほしい」や「案内所をもっと宣伝してほしい」といった意見を頂いております。今後は、来訪者増加や地域経済の活性化、湖西市の知名度向上などの効果検証を行います。

(元気なまちの実現・「わしづ駅前ちょっと夜市」)

3つめは、開始から4ヶ月が経過した「わしづ駅前ちょっと夜市」は、今月21日をもって終了しました。元気なまちの実現を目指して試験的に始めたイベントですが、湖西市商工会をはじめ、各出店者のご協力により駅前の賑わいづくりにつなげることができました。この場を借りて、改めて感謝の意を表したいと思います。期間中は、悪天候により中止となった日もありましたが、全15日間の開催により、累計出店店舗数は83店舗、店舗からの報告では、購入者数が2,500人を超えております。私としては、このイベントは一定の成果を上げていると感じており、今後も開催できるよう検討を進めてまいります。

(暮らしやすさの実現・「ひなんさんぽ」)

4つめは、11月、新居地区では、災害時に避難の支援が必要な高齢者や障がい者が、地域住民とともに避難経路を確認する「ひなんさんぽ」が行われ、私も参加させていただきました。地域住民のサポートを受けて、25人の避難行動要支援者が19か所の避難場所に向かって一斉に避難を実施しました。この訓練には、ご家族やサポート担当者、自治会、自主防災会、民生委員、社会福祉協議会など、総勢190名が参加しました。私は、この訓練を通じて、要支援者の存在を地域住民に知ってもらうきっかけとなっただけでなく、災害発生時における自助と共助の重要性を実感する貴重な機会となったと考えています。また、要支援者を地域で見守り、支援する必要性についても広く周知できたと感じています。

続いて、新たな取組について2つ、ご紹介します。

(元気なまちの実現・「官民共創 セールスG○実証実験」)

1つめは、今月25日、湖西市出身の内山雄輝氏が代表取締役社長を務めるSALES GO株式会社と、同社が開発・提供するAI議事録生成ソフト「GoCoo! Meeting」(ゴクウミーティング)の無償供与に関する協定を締結しました。

本協定は、同社の地域貢献の一環として、本市の業務効率化およびDX推進を支援す

ることを目的としています。AIによる議事録生成により、会議録作成業務の効率化や精度向上、さらには要約・多言語対応機能を通じた情報共有の円滑化が期待されます。

(元気なまちの実現・「官民共創」物流実証実験)

2つめに、この12月に実施されるモノづくりのまち湖西らしい官民共創の取組をご紹介します。市はこれまで、水道スマートメーターなど官民共創の取組を進めてきましたが、今後は、社会課題を解決する民間企業のチャレンジを後押しする場の提供も推進していきたいと考えています。スズキ株式会社とLOMBY（ロンビー）株式会社は、公道での物流輸送活動を見据え、課題の洗い出しと問題解決を進めるため、市内公道を使用した遠隔操作型小型車の公道走行トライアル、いわゆる自動運転走行のトライアルを行います。今回の実証実験は工場間を結ぶ物流輸送ですが、市としては、公道の歩道部分を走行するため、市民への注意喚起と将来の市内物流・市民サービス向上への可能性を見据え、トライアルに協力します。

(第2期実践計画)

これらの事業を継続させて発展させるため、今まさに、第6次総合計画の第2期実践計画の策定を進めています。

9月から10月にかけて総合計画審議会では、施策ごとの集中審議を行うため、3回の審議会を開催しました。委員の皆様からは、市民目線と専門分野に基づいた多様な意見を頂き、これを踏まえ再度検討を行いながら計画のまとめ作業を進めています。

第2期実践計画の策定にあたり込めた思いは、郷土の偉人・豊田佐吉翁のチャレンジ精神を受け継ぎ、湖西市の特性を活かしながら未来へ挑戦し、次世代に誇れるまちを作ることです。この思いを実現するために、生活満足度を高め、「暮らしやすさの向上」に繋がる施策と、産業活性化や人々の交流促進による「元気なまちの実現」に向けて取り組んでまいります。

現在、令和8年度予算についても編成を進めておりますが、非常に厳しい財政状況に直面していると感じております。限られた財源の中で最大の効果を上げるため、最善を尽くしてまいります。

(結び)

結びに当たりまして、今回、本12月の定例会に提案させていただきます議案は、新規条例、条例の改正、契約の変更、補正予算等々の26件となっております。後ほど個別にご提案をさせていただきますので、よろしく御審議を賜りますようお願い申し上げます。

以上で私の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いをいたします。

ありがとうございました。

以上